

2022年8月7日

前奏

鈴木義兄

賛美歌23番

くるあさごとに あさ日とともに かみのひかりを こころにうけて
あいのみむねを あらたにさとの

くるあさごとに つみをきよむる めぐみのつゆを あめよりくだり
かみのさちをぞ あらたにそうる

くるあさごとに わざとことばを きよめわかちて 神にささげば
ささぐるたから いやましたまわん

くるあさごとに とるわがつとめひとをあいて おのれにかたば
かみにちかづく みちとこそなれ

くるあさごとに いのれるごとく あゆみたく まさみちすすみ
きよきやすみに いらしめたまえ

聖書拝読 使徒行伝28章1-16節

説教 “マルタからローマへ” Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“主を誇る者たち” (Those who boast in the Lord)

“それは、誇るものは主を誇れと書いてある通りである。” (コリント日への第一の手紙1章313節)

最近、日本語でマウントを取る、という言い方をしますが、何のことかと思うと、相手より自分が優位に立っているとアピールする行為だそうです。現代に限らず、昔から人の上げ足を取る人はいたと思いますが、あからさまにアピールする人が増えたのでしょうか。この表現はネットから始まったようですが、格差社会になってきて、人々の心が不安定になっているのかもしれない。その裏にあるのは、プライド、といってもいい意味ではなく、False Prideといわれるような虚栄心のようなものです。確かにネット社会になり、便利になりましたが同時に、人の虚栄心にアピールすることが以前よりもたやすくなりました。社会的な現象に翻弄されるのは恐ろしいです。

聖書によれば人々が追い求める、名声や世の権力は一時的なものです。パウロは第一コリント書において、神が知者をはずかしめるためにこの世の愚かなものを選んだ、それは、どんな人間でも、神の御前で誇ることはないためである、と言っています。そして、誇るものは主を誇れ、とエレミヤ書9章24節から引用して論じています。

私たちが空しい誇りから離れ、常に備えてくださる主の恵みに感謝しつつ生きられます様にお祈りします。

Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

—日本語部で鈴木義兄が休暇中にオルガン伴奏をしてくださった森田みゆ姉が、日本に帰国されました。森田姉の将来に主の導きと恵みがあります様にお祈りください。

—BA. 5 という新型コロナの変異株がアメリカでも広まっております。引き続き気を付けてお過ごしください。

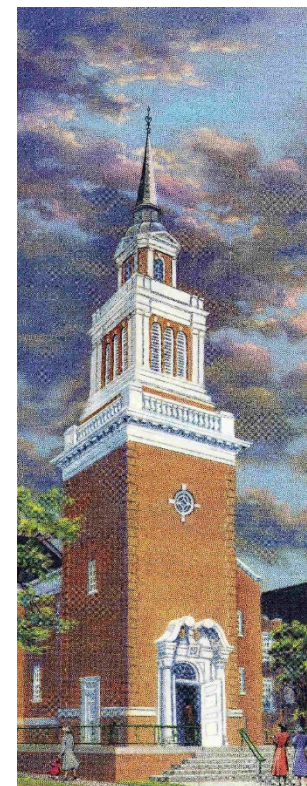
お知らせ

—シカゴ市内に住むカレン語部の兄弟姉妹たちのアパートが火事で焼け、教会では彼らのために募金を募っています。ご協力される方は、ノースショアバプテスト教会にて“Benevolence Fund”と小切手のメモ欄にお書きの上、送金ください。オンラインでの献金も可能です。

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのバプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。



週報

第3884号
2022年8月7日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

発行: 2022年8月3日—スショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200